



# 新型コロナワクチン接種スタート!

## 総選挙に向けて 市民と野党で命優先の政治を!

### 新型コロナワクチン予約・接種予定

新型コロナワクチン接種コールセンター  
0570-000-226(21秒ごとに10円)  
(午前8時～午後8時 土日・祝日対応)

夕張市では、新型コロナワクチンの接種が始まっています。  
75歳以上の高齢者・施設入所者等のうち、約100人ほどの接種希望者の予約受付が終了し、市内医



### 新型コロナワクチン 7月末に終了予定

年齢	予約開始	接種時期
●70歳以上になる方(昭和27年4月1日以前生まれの方) ●70歳以上になる方と同居する65歳以上の方	6月7日(月)～	6月14日～(医療機関により変更あり)
●65歳以上になる方(昭和32年4月1日以前生まれの方)	6月14日(月)～	6月21日～(医療機関により変更あり)
●16歳以上の方～(今年度中に16歳以上になる方の予定: 詳細は7月広報で)	6月下旬に接種券郵送(詳細は7月広報で)	7月末までに接種終了予定(詳細は7月広報で)

療機関で順次ワクチン接種が進められています。

#### かかりつけ医がいる場合の予約方法は?

★南清水沢診療所  
・定期通院している方

・インフルエンザ等の予防接種を過去5年以内に2回以上接種したことのある方

★中條医院  
・2カ月に1回以上、定期受診している方

※予約は通院の際に!  
医療機関へのお電話による問い合わせは、通常診療の妨げになるため、控えてください。

#### ★市立診療所

・ご自分の病状が、接種してよい状況を確認してください。  
予約については、かかりつけ医がいなの方と同じ流れでコールセンター・インターネットでの予約となります。

★市外医療機関がかりつけ医の場合

・かかりつけの医療機関でワクチン接種をしているかを確認し、接種可能な場合は直接予約の相談をしてください。  
・かかりつけ医で接種をしていない場合、コールセンター・インターネットでの予約となります。

#### “予約はナビダイヤル10分で300円!”

市内外で問題になっているのが、予約

電話のコールセンターで、「ナビダイヤルでおつながりませう」という音声での応答の後、21秒ごとに10円がかかります。  
「10回かけてようやくつながった」「つないだままで、長時間待っていたら、合施設「りすた」で普段数千円の電話代が今月は高額になってしまった」などの声が寄せられています。  
接種券と一緒に送られた資料にも詳細な記載はなく、問い合わせる高齢者は多いはず。オペレーターも料金がかかりません。市民に負担のない形にすべきではないでしょうか。  
6月以降は拠点複合施設「りすた」の集団接種も予定されています。

## 政権交代の力を北海道から!



日本共産党夕張後援会では、今年の秋までに必ず行われる総選挙にそなえ、市内全域に立て看板を設置しました。  
北海道比例区予定候補者の前衆議院議員、はたやま和也氏と志位委員長が並んで写っているポスターが新しく加わりました。これまでの政策ポスターと合わせ、有権者への宣伝と支持を訴えようとして設置されました。  
市内には清陵など常設の掲示板が数箇所あり、

## はたやまさんを国会へ立て看板市内全域に



常に新しいポスターが貼られています。後援会では、個人宅での掲示など、協力頂ける所を探しています。

先月24日、コロナ禍において行われた3つの国政補欠選挙では、市民と野党共闘の政策合意が成果を収めました。

合意した政策は、「政治とカネの問題を徹底究明する。」「命と人間らしい生活が最優先されるコロナ対策を求める。」「市民と野党共闘の力で政治の流れを変える」というものでした。

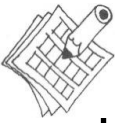
選挙後、野党党首会議が個々に開かれ、衆議院選挙においても1人区における候補者調整を政策合意

に基づいて行うことが話あわれました。コロナ禍の中、6月25日告示の東京都議選がすでに活動開始されるなど、総選挙に向けた準備がいつそう急がれている情勢です。

また、後援会ではくまがい桂子市議とともに、市内各地域で街頭宣伝、アンケートと3種類の署名用紙に無料返信用封筒をセットに配布し、アンケートや署名の返信も少しずつ戻ってきています。

街頭宣伝では、演説を聞いていた市民から「コロナワクチンは、いつになったら順番が来るんだ？年寄じやなくても、感染するかもしれないんだぞ」と不安を訴え、

国の政策を批判する声も寄せられています。



### くずさんの 夕張歴史散歩(157)

#### 明治維新71朝鮮植民地支配 53

前回で紹介した征韓論批判の中で勝海舟のアジア連合論は特に注視するものでしょう。

また、田山正平・吉岡弘毅の反対論については、詳しく紹介しませんが、ぜひ「日本と韓国・朝鮮の歴史」中塚明著・高文研発行の一読をお勧めします。

また横山正太郎のほかにも、そのすぐの弟「森 有礼」(第一次伊藤内閣の文部大臣)や「宮本小一郎」(外務省権少丞)(後に小一と改名)が征韓論を批判し、朝鮮民族の立場で発言しています。こうした武力をもって他国を制する政策に、少なくとも批判があったのです。

#### 明治政府の選んだ日本の進む道は

一八七一年(明治4)岩倉具視を全権大使として大久保利通・木戸孝允・伊藤博文らは大使節団としてヨーロッパ・アメリカを訪問。そこから日本の執る体制として、プロシヤのビスマルク政権による武力によるドイツ統一を学び、日本のモデルとしたのです。

#### 江華島攻撃で始まる戦争への道

かくして一八七五年(明治8年)九月、日本軍艦「雲揚」は朝鮮の首都ソウルの表玄関にあたる江華島の奥深く、測量を名目に侵入し、草芝鎮(チョジチン)砲台と交戦します。

そして同砲台を破壊、民家を焼き払って朝鮮側に35人の死者を与え、大砲38門を奪って雲揚は引き上げます。以来、国内の反征韓は影を潜め、江華島事件を手始めに、明治政府の朝鮮への侵略干渉戦争が始まります。これ以降の日本は、うち続く日清・日露・満州事変へと進み、中国戦争から第二次世界大戦へと破滅の歩んでいくこととなります。



紙 智子「国会かけある記」  
参議院議員

### 紙 智子

#### 都議選勝利必す

6月25日告示の東京都議選の応援で江東区に入り、あざがみ三和子都議とともに訴えました。焦点は、「新型コロナから命と暮らしをどう守るか」です。「本気でコロナ対策に立ち向かうのなら、東京五輪は中止せよ」と小池都知事に迫り、「コロナ専門病院」を整備させ、感染症や周産期医療など救命救急の最前線に立つ都立病院の独法化を許さず拡充など、都政を動かし、切り開いてきた都議団の論戦力が光ります。

だからと言って、安心はできません。市民と野党の共闘が広がるなかで行われた、2019年の統一地方選挙で、江東区議が7名から3名に激減しました。共闘を広げながら自力を強めることが必要です。

都議選で強く印象に残っているのが、2013年のたたかいです。7月の参議院選挙を控え、私が栃木県で演説会に参加していたときです。都議選の投票箱のふたが閉まった直後、司会者が「出口調査で日本共産党が現有8議席から17議席以上に伸びる可能性がある」と報じています」と報告した瞬間「うおーっ！」とどよめきがおこりました。

続く参議院選挙では、私を含め比例選挙で5人当選、東京、大阪、京都で選挙区での勝利。2014年の総選挙では21議席への躍進、北海道でははたやま和也さんの議席を得ることができました。この勝利が国会論戦で力を発揮し、安保法制のたたかいで、「市民と野党の共闘」の新しい流れを作り出したのです。都議選で勝利し、続く総選挙で政権交代を実現しましょう。